

安全データシート



SANYO KASEI

作成 2016年11月18日

改定 2019年12月11日(第3版)

管理番号 3611302

1. 製品及び会社情報

製品名称 : クリアグリーンホース用材料 TS4272
 会社名 : 株式会社長野三洋化成
 住 所 : 長野県東御市滋野甲2305
 担当部門 : 技術開発部
 電話番号 : 0268-62-1631 FAX番号 : 0268-62-4042
 緊急連絡先電話番号 : 株式会社長野三洋化成 技術開発部
 電話番号 : 0268-62-4043

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 高温・長時間の加熱により一酸化炭素発生のおそれあり。
 物理的、化学的危険性 : 常温において安定である。
 特定の危険有害性 : 特に無し。

G H S 分類

物理化学的危険性 : 分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 分類できない
 急性毒性(経皮) : 分類できない
 急性毒性(吸入:気体) : 分類対象外
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) : 分類できない
 皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 区分2B
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 区分1B
 生殖毒性・授乳影響 : 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) : 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) : 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 分類できない
 水生環境慢性有害性 : 分類できない
 オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素

シンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 および注意書き 危険有害性情報 眼刺激
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

安全対策 使用前に取扱説明書入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 取り扱い後は水と石鹼でよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当
 を受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理
 業者に業務を委託すること。

3. 組成及び成分情報	単一製品・混合物の区別	: 混合物
	化学名又は一般名	: ポリ塩化ビニルを主成分とする混合物

基材組成

構成組成物(化学物質名又は一般名)	CAS NO.	(%)
1 ポリ塩化ビニル	9002-86-2	<60
2 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7	<45
3 その他	非公開	<5.0

顔料組成

色名	構成組成物(化学物質名又は一般名)
1 NATURAL	-
2 C.GREEN	銅化合物[非公開]/その他[非公開]

危険有害成分情報

法規制	NO.	物質名	含有率(%)
労働安全衛生法指定物	481	DEHP	41
PRTR法指定物質	355	DEHP	41

国連分類 : 国連分類に該当しない

4. 応急処置	吸収した場合	: 洗浄水でうがいをする。多量に吸収した場合は 医師の診察を受ける。
	皮膚に付着した場合	: 石鹼水又は水で洗浄する。異常があれば医師の 診察を受ける。
	目に入った場合	: 目をこすらず、直ちに水で洗浄する。もし、異常 があれば医師の診察を受ける。
	飲み込んだ場合	: 多量に飲み込んだ場合は医師の診察を受ける。
	最も重要な徴候及び症状に 関する簡潔な情報	: 高温で塩化ビニル樹脂を成形していると樹脂が 分解して塩化水素等の有害性ガスを発生するこ とがある。目や喉に異常を感じた時は直ちに新鮮な 空気のある場所に移動する。又、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置	消火剤	: 散水、ドライケミカル、泡
	使ってはならない消火剤	: 特になし

火災時の措置に関する特有の危険有害性	:	燃焼すると有害性ガスを発生する。ガスの主成分はHCl、CO、CO ₂ である。
特定の消火方法	:	空気呼吸器を着用して消火作業に当る。
消火を行う者の保護	:	防護メガネ、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項	:	通常は特に必要としないが、防護メガネを着用するのが望ましい。
	保護具及び緊急時措置	:	手袋、保護マスク、ゴーグル等を着用し作業に当る。
	環境に対する注意事項	:	飛散物の再飛散防止の処置をとり、排水溝、川への流入を防止する。
	回収方法	:	飛散したものをかき集めて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い		
技術的対策	:	取扱いは換気の良い場所で行い、防護メガネ及び防護マスクを着用する。火気を近づけない、飛散させない。
安全取扱い注意事項	:	必要に応じて局所排気装置を設置する。
保管		
技術的対策	:	通常は特に必要としない。
混触禁止物質	:	通常は特に必要としない。
保管条件		
適切な保管条件	:	直射日光を避け、局所廃棄設備を有し、外気温の影響を受けない換気の良い冷暗所に保管する。
避けるべき保管条件	:	直射日光が当り、換気の悪い高温多湿での保管を避ける。
推奨容器包装材料	:	紙袋、アルミ袋、プラスチック容器、金属容器等で保管する。

8. 暴露防止及び保護処置	設備対策	:	飛散しやすい場所には、掃除機等を設置するのが望ましい。
	保護具		
	呼吸器の保護具	:	作業時には防護マスク、火災時には空気呼吸器。
	手の保護具	:	PVC又はゴム製手袋を使用するのが望ましい。
	目の保護具	:	防護メガネを使用するのが望ましい。
	皮膚及び身体の保護具	:	防護服、安全靴を着用するのが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質	物理的状态		
	形状	:	ペレット状の固体
	色	:	指定色
	臭い	:	僅かに特有の臭い
	pH	:	適用外
	融点	:	明確な融点は無く、広い温度範囲で熔融。
	沸点	:	該当せず (200~300°Cで分解)
	比重 (真比重)	:	1.20 ±0.03 (23°C)
	溶解度 (溶解性)	:	水には不溶。殆どの有機溶媒に不溶であるが、ケトン類、THF類には溶解する。
	発火温度	:	情報なし
	可燃性	:	あり(消防法: 指定可燃物)
	発火性	:	常温では発火しない。
	酸化性	:	常温では安定な物質である。
	粉塵爆発性	:	ペレット状の為、その可能性は非常に低い。

10. 安定性及び反応性	安定性	:	通常取扱いにおいて安定である。
--------------	-----	---	-----------------

反応性

特定条件下で生じる危険な反応	: 常温において安定である。
避けるべき条件	: 火気に近づけない、飛散させない。
避けるべき材料	: 通常は特に必要としない。
混触危険物質	: 通常 of 取扱いにおいてははない。
危険有害な分解生成物	: 燃焼すると刺激性のガスを発生する。ガスの主成分はHCl、CO、CO ₂ である。

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
皮膚腐食性・刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 情報なし
呼吸器感受性	: 情報なし
皮膚感受性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器・全身毒性 ー 単回暴露	: 情報なし
特定標的臓器・全身毒性 ー 反復暴露	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性/分解性	: 環境中で容易に分解しない。
生体蓄積性	: 蓄積しないものと考えている。
土壌中の移動性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

製品	: 排ガス処理装置付きの焼却設備 (800°C) にて焼却し、又は非危険廃棄物として埋め立てる。
残余廃棄物	: 非危険廃棄物として埋め立てる。
汚染容器、包装	: 排ガス処理装置付きの焼却設備 (800°C) にて焼却するのが望ましい。

14. 輸送上の注意

陸上	: 容器の破損及び荷崩れ防止に注意する。
内陸水路	: 特になし
海上	: 特になし
航空	: 特になし

15. 適用法令

化審法	: 既存化学物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物 (廃棄物として処理する場合の分類)
高压ガス保安法	: 適用を受けない。
消防法	: 指定可燃物
毒劇物取締法	: 適用を受けない。
船舶安全法	: 適用を受けない。
輸出貿易管理令	: 適用を受けない。

16. その他の情報

- 1) 伊藤公正編「プラスチックデータハンドブック」工業調査会
- 2) IARC "IARC Monographs on the Evaluation of carcinogenic Risks to Humans"
Vol 1~56 1972-1993

～記載内容の取扱い～

記載内容は現時点で入手できる資料・情報・データに基づき作成しておりますが、物理化学的性質・危険・有害性等についてはいかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は通常 of 取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を施してください。